

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		子どもクラブ		公表日		2026年3月31日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・法定基準を満たしたスペースを確保している。	・少し狭いとの意見もある。今まで配置の工夫等行っているが、構造上致し方ない面もある。数多く意見が出た場合は検討を行う。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・子どもの状態や人数など、基準を満たした上で、適切な配置を行っている。	・急な職員欠員（病欠等）があった際に、滞りが出る事もある為、今後はその点も留意していく。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・出来るだけ段差を無くしたり、対応が出来る箇所は適切に行っている。	・構造上、どうしてもバリアフリーが難しい箇所がある為、安全が確保出来る対応は引き続き行っていく。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日業務後の清掃は行っている。 ・空気清浄機を導入している	・法的基準を満たしたスペースではあるが、運動や広く場所を使う遊びに関しては制限がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・必要に応じ個別の部屋（2階）を使用している。	・1階活動室では個別の部屋は無く、パーティションなどを用いている。限りがある面については考慮が必要。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・半年に一度作成する個別支援計画に関しては広く関わる様にしているだけでなく、日々の支援を通じて子どもの変化があれば都度反映を行う際でも広くスタッフを交え検討・対応する様にしている。	・各子ども達の日々の変化に留意していき、必要に応じて短い期間でも支援に反映できる様にしていく。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・アンケートは毎年行っており、その他連絡帳や引き渡し時などでも随時保護者等への意向を伺う機会を設けている。	・内容によっては直ぐに対応出来なかったり、時間を要する事もあり迅速に対応出来なかった事もあった為、改善をしていきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ミーティングや朝礼時だけでなく、常に意見を言ってもらおう雰囲気作りを心がけている。	・発言を控えてしまう、内容によっては言いにくい等があると思われるので、より言いやすい雰囲気作りを努めていく。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・現在第三者評価は受けていない。	・必要に応じ検討を行う。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・ミーティングや法人全体での研修や資格確保の研修・講習を受ける機会を設けている。	・より多くの研修機会を持たせていく必要性を感じている。対応していきたい。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・ホームページ上に公表しており、必要に応じ更新も行っている。	・子どもの状態により常に見直し、更新を行う意識を持つようにする。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・保護者の面談や職員間の意見、ミーティングでの内容などから計画を作成している。	・引き続き、まずは本人の希望、保護者等の意向をしっかりと踏まえた計画作りを行うように努めていく。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・ミーティングや日々の支援で共通の意識で支援を行い、子どもの様子を注視し支援に反映している。	・より今後も充実した検討を行ってきたい。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・スタッフには共有を行い、日々の朝礼で確認し計画に沿った支援を行っている。必要に応じ支援の反映も行っている。	・スタッフ全員がより意識して個別支援内容やアセスメントシートを都度確認して支援に反映する・振り返る等行える様にしたい。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・連絡帳や日誌の記録を各スタッフが記入・確認を行っている。	・より使いやすいツールや専門的なツールも把握し取り入れていく検討も行っていく。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・5領域を網羅した個別支援計画を作成している。様々な活動機会を設け、一人一人合った支援を行うようにしている。	・子どもにより、より強化したりより充実しなければならぬ領域があると感じているので、今後計画を立てる際により留意していきたい。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・ミーティングや朝礼などスタッフで話す機会が随時立案・話し合い等行っている。	・内容によっては子どもの障害特性に合致しない事も見られる為、より具体的な充実した内容を立案していく様、努めていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・音楽、ストレッチ、工作、調理、お出掛けや季節のイベント等を行っている。	・自由遊びの時間も大事と考えており、プログラムのバランスを今後も考えて検討を行っていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・子どもの状況や障害特性を把握した上で、まずは子どもが楽しくリラックスできる事を第一として支援を行っている。	・子どもによっては偏りが出てしまう事はある。本人に合った組み合わせを今後検討していく反映していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・支援開始前には必ず朝礼を30分は行い、当日の流れや来所する子どもの様子や留意点、全体での確認を行っている。	・引き続き充実した朝礼時間を設け、日々の支援に反映していく様に努めていく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・現段階では全員が支援終了後に振り返りや話し合う時間を設けられていない(スタッフによっては他の業務に向かう事がある)	・翌日の朝礼時には必ず前回の子ども様子や、前日での出来事は伝える様にしている。必要に応じtermsなどでも共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・連絡帳や日報で記録は行っており、必要に応じtermsでの共有も行っている。支援の検証・改善は日々行っている。	・記録を取る際のツールについてはより有効なものがあれば取り入れるなど、必要に応じて改善を行っていききたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・日々の子どもの様子を見て、随時見直し、支援の変更・反映を行っている。本人、保護者の意向も取り入れ繁栄を随時行っている。	・今後はより適切な、十二分なモニタリング、見直しを行っていききたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・個別支援計画に反映し、組み合わせでやる様にしている。	・子どもによっては繋がりが弱い面があると思われるので、意識して組み合わせを行っていききたい。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・障害特性に応じて子どもにあった支援・アプローチを行い支援している。(必要に応じマカトンサインや絵カードを用いる)	・より新たなツールを検討したり、一人ひとりに合った支援を常日頃意識して支援に反映していく様に努めていく。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・会議に関しては、管理者、児童発達支援管理責任者、中心的立場のスタッフが参加できる様にしている。	・他の業務の兼ね合いで参加が出来ない事がある為、出来るだけ参加できる様に留意し努めていく。
	27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・連携して対応を行う体制は整えている。	・医療面に関しては、今後強化していく必要があるかもしれないと感じており、必要に応じ検討を行う。
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	○		・学校との連携は引き受け時や会議、メールでのやりとり等を通じて行っている。	・複数学校を対応しているが、学校により出来る面、出来ない面がまちまちであり場合により滞りが出る事がある為、改善を考えたい。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・デイへの移行時は事業所とやり取りを行ったり、保護者から書類を見せてもらう等行い、就学前の情報を把握する様に努めている。	・就学前に利用していた事業所との繋がりに関しては強くないのが現在の状況ではある為、必要に応じ連携を強化していく事も検討していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・当法人では他の事業も展開しており、卒業後だけでなく在籍中においても紹介をしている。また、必要に応じ他の事業所への紹介も行っている。	・当法人の理念として、卒業後も支援を行っていききたい側面がある為、原則的に当法人の紹介が主となっており、他の事業所への紹介は不足的になっているのが現状である。選択肢を増やす点で、その点も強化したい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		・現段階では多くの機会を設けられていないのが現状である。	・機会を設けていく様に検討を行いたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・地域の催しに参加した際に交流する事があるが、定期的に機会を設けられていないのが現状である。	・保護者やこども本人の意向も踏まえながら、検討を行っていききたい。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・現段階で積極的に参加出来ていない。	・今後必要に応じ参加できるか検討を行っていききたい。できない場合でも情報・内容の確認やスタッフへの共有できる体制も考えていく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡帳や引き渡し時の申し送り時、必要に応じ電話連絡や面談を通じて密に行っている。	・今後も密に保護者とやり取りが行える様にしていきたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・家族に対する支援や相談に関しては随時受けているが、研修の機会は設ける事は出来ていない。	・現段階で保護者への対応は誠意をもって行っているが、より専門的な内容や研修に関して要望があれば対応出来るか検討を行いたい。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に説明を行い、変更が生じた際は都度説明を行っている。	・引き続き滞りの出ない様、対応を続けていく。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・子どもに対しては日々の支援を通じて本人の意向を汲み取る様にしており、保護者に対しても面談だけでなく日々のやり取りを通じて常に意向を把握する様に努めている。	・より意向を汲み取り、適切な支援内容を考え反映していく様に努めていく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・確認してもらい署名を頂いている。	・今後も適切な計画、意向を取り込んだ計画作りを行っていく様、努めていく。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・支援だけでなくその他の事、なんでも相談に応じる様にしており、誠意をもって出来る限りの対応を行っている。	・場合によっては至らない面や、対応が難しいケースも過去にはあったが責任を持って対応出来る事は行うように努めていく。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・现阶段で保護者会は開催していない。イベント時などで交流の場が設けられているに留まっている。	・数多くの要望があった際は、開催する事を検討している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・受付窓口は設置しており、時間外でも対応している。迅速かつ誠意をもって対応をさせて頂いている。	・今後も適切かつ誠意をもって対応をしていく様努めていく。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・連絡帳アプリを用いて、情報発信を行いお知らせしている。	・お知らせが遅くなってしまう事もあり、より適切な対応を心掛けていく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・書面で保護者から取り扱いについての確認を行っており、連絡帳や運営においても注意を払って対応している。	・今後も個人情報に関しては細心の注意を払い対応を行っていく。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・マカトンサインや絵カード、文字での対応など、必要に合わせて配慮・対応を行っている。	・滞りなく対応ができる様に、引き続き留意して対応を続けていく。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・商店街の催事に参加し、可能な時は出店も出して、広く地域に開く様にしている。また、不要のパソコン引き取りも行っており、窓口として住民と接する機会も多くある。	・地域住民における認知はまだ不十分な箇所があると感じている為、活動において地域住民との結びつきができる事は具体的に無いが、必要に応じ検討を行っていく。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルを整備し、避難訓練などの訓練を行っている。	・マニュアル、研修共に充足していない箇所があると感じている為、整備、対応を行っていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPは年に一回見直しを行い、避難訓練なども行っている。	・より多彩な訓練、研修を取り入れてスタッフに落とし込みたいと思っている為、引き続き対応を行っていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・利用するにあたり、必ず確認する様にしており、利用後に追加、変更があった際は必ず把握し対応として反映していく様にする。	・特に服薬面で変更があった際に把握が遅くなるケースも過去にあった為、保護者との内容共有は速やかに出来る体制をより強化していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者と通じてアレルギー情報は必ず聞くようにしており、医師の指示を遵守し対応する様にしている。	・毎回の朝礼時では確認する様にしており、リストアップして確認できる様にしているが、過去に間違えて提供したり提供しそうになってしまった事があった。（各種対応は行った。健康被害は見られなかった）命に関わる事なので細心の注意を払いミスが起きない様にしっかり対応をしていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。		○	・子どもが安全に過ごせる様に、朝礼時やミーティングではしっかりと確認を行い、送迎車の安全装置や避難訓練、マニュアルなども整備しているが、至らぬ面がまだ多々ある状況である。	・随時整備を行っていき、子ども達が安心して来所できる体制作りをしっかりと行っていく。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	・連絡帳で避難訓練の様子は伝えているが、周知に関しては不足をしている。	・様々な内容を分かりやすく保護者に示し、共有・周知していく様に対応を行っていく。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・どんなに小さな事でも報告書を書いてもらうようにし、検討を行い再発防止に向けた具体的な対策を考え反映している。	・大事なのはスタッフ各自の意識面と考えており、ふとした事から発生してしまう為、毎回支援前の朝礼で全員が意識を改めて持つように働きかける様にしている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修の機会を確保するだけでなく、朝礼時やミーティングでも個別ケースなどで話題を取り入れ意識できる様にしている。	・とても大事な内容なので、今後はより充実した研修や機会を多く待たせられる様に対応を行っていきたい。

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	・現段階で身体拘束については行わない方針で考えている。	・今後やむを得ず身体拘束が必要となった際は、決められた手順を遵守し対応を行っていきたいと考えている。
----	--	---	-----------------------------	--